

令和4年7月1日

長野県知事 様

## 令和5年度長野県産業廃棄物3R実践計画書

下記のとおり、産業廃棄物3R実践計画書を提出します。

協定期間	令和5年度から令和7年度	
会社名	株式会社武田組	
住所	〒387-0007 長野県千曲市大字屋代435-5	
代表者名	代表取締役 武田 敏光 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">印</span>	
業種	製造業 ・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">建設業</span>	
処理施設 所在地 (処理施設を有する場合)	施設名	所在地
担当部署	総務部	
担当者名	池田 香織	
連絡先	TEL	026-272-0754
	FAX	026-273-3869
	電子メールアドレス	tkg-matsu@team.email.ne.jp
ホームページアドレス	http://www.takeda-gumi.net/	

## 1 産業廃棄物3R実践方針

エコアクション21のマネジメントシステムを運用し、産業廃棄物の排出量の抑制・リサイクル率の向上・法令遵守・適正処理に全社員で取り組みます。月例会議・各現場での朝礼を通じて環境へ対する意識の向上を図り、産業廃棄物3Rの実践協定の目的を理解し実行します。

## 2 基礎数値の把握

(1) 総排出量の推移 (t・kg 又は m<sup>3</sup> ※採用した単位に○)

令和4年度	令和3年度	令和2年度
1384.70	382.53	524.99

(2) リサイクル量の推移 (t・kg 又は m<sup>3</sup> ※採用した単位に○)

令和4年度	令和3年度	令和2年度
1383.9	382.53	524.99

(3) 売上高の推移 (円)

令和4年度	令和3年度	令和2年度
860,772,240	1,178,360,488	1,051,508,811

(4) 廃棄物処理 (リサイクルするものは除く) に要する費用の推移 (円)

令和4年度	令和3年度	令和2年度
19,745	10,285	47,835

※排出抑制に基づく費用軽減の取組みの成果を経年でみます。

(5) リサイクルに要する費用の推移 (円)

令和4年度	令和3年度	和2年度
926,916	338,987	502,680

3 取組み目標及び過年度実績

※目標値の指標の設定は、協定期間中同じ考え方の指標を継続して使用してください。  
※協定期間の年度ごとに記載してください。新規の協定締結者は、初年度分のみ記載してください。

(1) 排出抑制のための目標値及び過年度実績値

① 総排出量に関する目標値及び過年度実績値

(総排出量と売上高との相関により、減量化の成果 (傾向) を見ます。)

ア 総排出量 (t・kg 又は m<sup>3</sup> ※採用した単位に○) / 売上高 (円)

令和5年度 (当年度目標値)	令和4年度 (過年度目標値)	令和3年度 (過年度目標値)
0.0000004	0.0000004	0.0000005

イ アの目標値に対する過年度実績値を記載してください。

令和4年度	対前年比	令和3年度	対前年比	令和2年度
0.0000016	500%	0.00000032	65.3%	0.00000049

ウ ア以外の指標による目標設定※

令和 年度 (当年度目標値)	令和 年度 (過年度目標値)	令和 年度 (過年度目標値)

※排出抑制目標値については、総排出量/売上高を基本としていますが、これにより難しい場合や自社で決めている場合は、独自に定める指標により作成してください。

その場合、指標の算出方法や考え方について下記に記載してください。また、業務内容別に目標設定を行うことも可能なので、自社の状況に応じて設定してください。その場合、適宜記載欄を追加したり、別添様式 (任意) で記載するなどしてください。

独自に指標を定める場合の算出方法・考え方

--

エ ウの目標値に対する過年度実績値を記載してください。

令和 年度	対前年比	令和 年度	対前年比	令和 年度

②廃棄物処理（リサイクルするものは除く）に要する費用に関する目標値及び過年度実績値

（売上高に占める廃棄物処理（リサイクルするものは除く）に要する費用の割合を見ます。）

ア 廃棄物処理（リサイクルするものは除く）に要する費用（円）／売上高（円）×100（％）

令和5年度（当年度目標値）	令和4年度（過年度目標値）	令和3年度（過年度目標値）
0.01%	0.01%	0.02%

イ アの目標値に対する過年度実績値を記載してください。

令和4年度	対前年比	令和3年度	対前年比	令和2年度
0.0022%	252.8%	0.00087%	21.75%	0.004%

③リサイクルに要する費用に関する目標値及び過年度実績値

（売上高に占めるリサイクルに要する費用の割合を見ます。）

ア リサイクルに要する費用（円）／売上高（円）×100（％）

令和5年度（当年度目標値）	令和4年度（過年度目標値）	令和3年度（過年度目標値）
0.1	0.1%	0.1%

イ アの目標値に対する過年度実績値を記載してください。

令和4年度	対前年比	令和3年度	対前年比	令和2年度
0.107%	382.1%	0.028%	59.5%	0.047%

(2) リサイクル率目標値 (%)

※リサイクル率は現地確認等で最終的なリサイクルを確認できる数字で記載してください。

廃棄物の種類	当年度目標値	過年度実績値		
	令和4年度 目標値	令和3年度 実績値	令和2年度 実績値	令和元年度 実績値
アスファルト塊	100	100	100	100
コンクリート塊	100	100	100	100
木くず	100	100	100	100
全 体	100	100	100	100

(3) リサイクル製品使用率目標値

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品（材料）使用量／全体材料使用量 (%)

製品（材料）種別	当年度目標値	過年度実績値		
	令和5年度 目標値	令和4年度 実績値	令和3年度 実績値	令和2年度 実績値
再生砕石	85	92.5	80.5	76.5
アスファルト合材	100	100	100	100
再生砂	30	20	16.7	31.0
全 体	71.6	70.83	65.7	69.16

3 産業廃棄物処理責任者等

職	氏 名	職務内容
土木部長	高野 和夫	産業廃棄物についての統括管理責任者
総務	池田 香織	産業廃棄物についての社内担当者
現場	現場代理人	産業廃棄物についての現場責任者

\*必要に応じ管理体制組織図等を添付してください。

4 産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理の方法等に関する情報公開

エコアクション21における環境活動レポートにより、計画・結果等を環境活動内容と共に公開する。  
工事現場ごとに産業廃棄物の種類・処分委託業者名・収集運搬業者名及び各許可番号を掲示板に記載し掲示する。

5 産業廃棄物処理施設の地域への公開、説明（処理施設を有する場合のみ）

施設の名称	公開計画の有無	公開計画の概要又は公開計画無しの理由
	有・無	
	有・無	

6 処理を委託する処理業者（施設）の現地確認計画

区分	廃棄物の種類	現地確認計画
中間処理場	アスファルト塊	環境管理責任者または現場責任者が原則年1回以上は処理場へ出向き、処理状況・リサイクル状況の確認を行う。
	コンクリート塊	
	木くず	同上
最終処分場		

7 従業員教育（研修）計画

項目	教育（研修）計画内容
社内教育	エコアクション21に基づいた環境教育を実施し、産業処理フロー・関係法の改正を学ぶ。 (講師:環境管理責任者、対象者:事務員・現場代理人)
協力会社教育	現場安全教育等を通して、環境活動への取組の理解を得る。 (講師:環境管理責任者・現場代理人、対象者:協力会社・現場作業員)

8 リサイクル促進に向けた取組み（計画段階、実施段階での工夫など）

計画段階でリサイクル推進に努める。また、産業廃棄物減量化への検討も並行して行う。エコアクション活動の環境活動事例等をもとに、環境への配慮・関心を深める。

9 処理を委託した廃棄物について、不法投棄・不適正処理が生じた場合の排出事業者責任の徹底

状況の確認を行い、速やかに関係機関へ連絡をする。また、原因究明を行い、再発防止の対策を講じる。他の処理業者への変更を行い、排出事業者としての責務を果たす。

10 他の不適正処理を発見した場合の協力体制

速やかな情報伝達による報告義務を、全社員に徹底する。  
不適正処理と判断される現場を発見した場合には、社内で検討し、必要に応じて関係機関への報告を行う。

1 1 自社処理廃棄物の管理方法（自社処理を行っている場合のみ）

--

1 2 その他協定の目的達成のため、独自に取り組む事項

※環境認証制度等の取得※、電子マニフェスト（公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター）の導入等を含む。

エコアクション21による環境管理の実施 工事評価点制度による現場管理の評価の実施と技術者の人材育成 月例朝礼での環境配慮への意識改革の実施 電子マニフェストの積極的運用
---

\*環境ISO 14001、エコアクション21等